

小樽南ロータリークラブ会報

ホームページ <http://rid2510.org/otarusouth/>

昭和35年2月5日

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2013-2014年度 Rotary International テーマ



Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

ロン D. バートンRI会長

強調事項 RI第2510地区 安孫子 建雄 ガバナー (江別RC)

- ロータリーの基本を見つめ 変革するロータリーを実践しよう
- 「RIテーマ<ロータリーを実践し みんな豊かな人生を>の理解を深めクラブと地域そして世界で活躍するロータリアンになろう」

●今日1月31日(金)のプログラム

◎スピーカー

財務局小樽出張所 所長 岡田 一則氏

●来週2月7日(金)のプログラム

◎小樽野球協会の歩み

迫 俊哉氏

●再来週2月14日(金)のプログラム

◎小樽焼きそば親衛隊

江頭 進氏

●第27回例会報告 1月24日(金) 「小樽市民国際交流会議実行委員会」

■ロータリーソング ■「それでこそロータリー」

■会長報告 ■ 吹越会長



本日の例会プログラムは小樽市民国際交流会議実行委員会ということでその経過とRI戦略即ちロータリー財団の未来の夢計画についてお話をさせていただきます。

一昨年(2012.11.10)地区より細川好弘G・安孫子Gエレクト・岩城秀晴PG連名にて2012-2013年度地区補助金セミナーに出席を要請され私と宮川副会長が出席しました。

◎次年度よりロータリー財団「未来の夢計画」が本格的に実施されます。従来のロータリー財団関連プログラムが大きく変化します。

◇ロータリー財団の概要 未来の夢計画について

*目的

ロータリー財団の使命に沿って世界の優先的なニーズに取り組む最大の成果をもたらすと云う大変野心的な目的。

*未来の夢とは

人道的プロジェクトや教育的プロジェクトを実施する地区やクラブをサポートするためのロータリー財団の新しいモデル。

*なぜ「未来の夢」が必要か

さらに大きな成果をもたらす一般の認知度を高めるために効率を高め活動の焦点を絞る必要性が高まっているから。

*財団の原点

1916-1917年度アトランタにて国際大会アーチC.クラフRI会長「世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でより良きことをするため基金をつくろう」と提案したことに始まった。1928年ロータリー財団となる1983年イリノイ州法の法令のもと非営利法人。2007年RI戦略計画を発表・・・規定審議会にてRI理事会より財団の「使命・標語優先事項」に関する決議が提出され採択された。

*使命

ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め貧困を救済することを通じ世界理解・親善・平和を達成出来るようにすること。

*標語

世界で良いことをしよう (Doing good in the world)
アーチC.クラフが財団設立時に云った言葉

*優先事項

- ①運営一簡素化
- ②成果も内容も未来の夢計画に沿ったもの
- ③地区・クラブレベルにおいて財団より一層参加し財団を自

分達の財団と自負すること

- ④目標達成のため十分な資金と人材を提供する
- ⑤夢計画を支える効果的な方策を開発すること。RI戦略計画ロータリー財団の「未来の夢計画」Future Vision Plan

◇ロータリー財団の4つの目標

- ①ポリオの撲滅(ロータリー全体の第一目標であり撲滅まで)
- ②新しい補助金モデル未来の夢Future Vision Planの導入を成功させること
- ③奨学金(国際親善奨学金)
- ④職業研修チーム

当クラブ創立以来、ロータリー財団とは寄付を集めるのが財団の目的使命と考えている会員が大半ではなかったか私自身のように行動してまいりました。RI戦略計画であるロータリー財団「未来の夢計画」を受け又4月の地区協議会終了と同時に並行的に奉仕プロジェクト委員会を開き各委員長にメインテーマを決めていただき案を持ち寄り職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・財団委員長それに地区補助金管理セミナーに出席し内容を熟知しております宮川副会長を入れ6人と5人の委員長が立案したテーマについて「未来の夢計画」に合致するか検討を重ねた結果の「小樽市民国際交流会議」であります。

小樽南ロータリークラブ会員全員で力を合わせ成功に導きましょう!

■幹事報告 ■ 山村幹事

- ・2/22開催の3クラブ合同例会への参加出・欠のFAXさせていただきますが、ご返事を1月31日必着にてご協力をお願いします。
- ・余市RCより会報が届いております。
- ・羽部第2510地区ガバナーエレクトよりサンディゴで開催されます国際協議会会場に無事着きましたとのハガキが届いております。

■委員会・同好会報告 ■

◎花園村会 加藤会員

- ・2月15日(土) 大和家本店にて、毎年恒例の今が旬の「ふぐ」のフルコースを食する会を設けました既に花園村民の皆さま方にはFAXにてご案内しておりますが越境村民大歓迎ですので奮ってご参加をお待ち申し上げております。

◎会計 佐藤(友)会員

・お詫びとお願ひ

従来では1月当初には、下期会費の振込口座番号当のお知らせをお配りしておりましたが諸事雑事に追われ遅配しておりますこと深くお詫び申し上げます。来週には各ポストに入れさせていただきます重ねてお詫び申し上げます。下期会費85,000円よろしくお願ひいたします。

小樽市民国際交流会議実行委員会

各委員会の皆様、宜しくお願い致します。



小樽市民国際交流会議組織図

- 会 長 吹越 範義
- 次期会長 加藤 正幸
- 副 会 長 宮川 伸二
- 幹 事 山村 弘一
- 会 計 佐藤 友美

実行委員長
岡崎 芳明

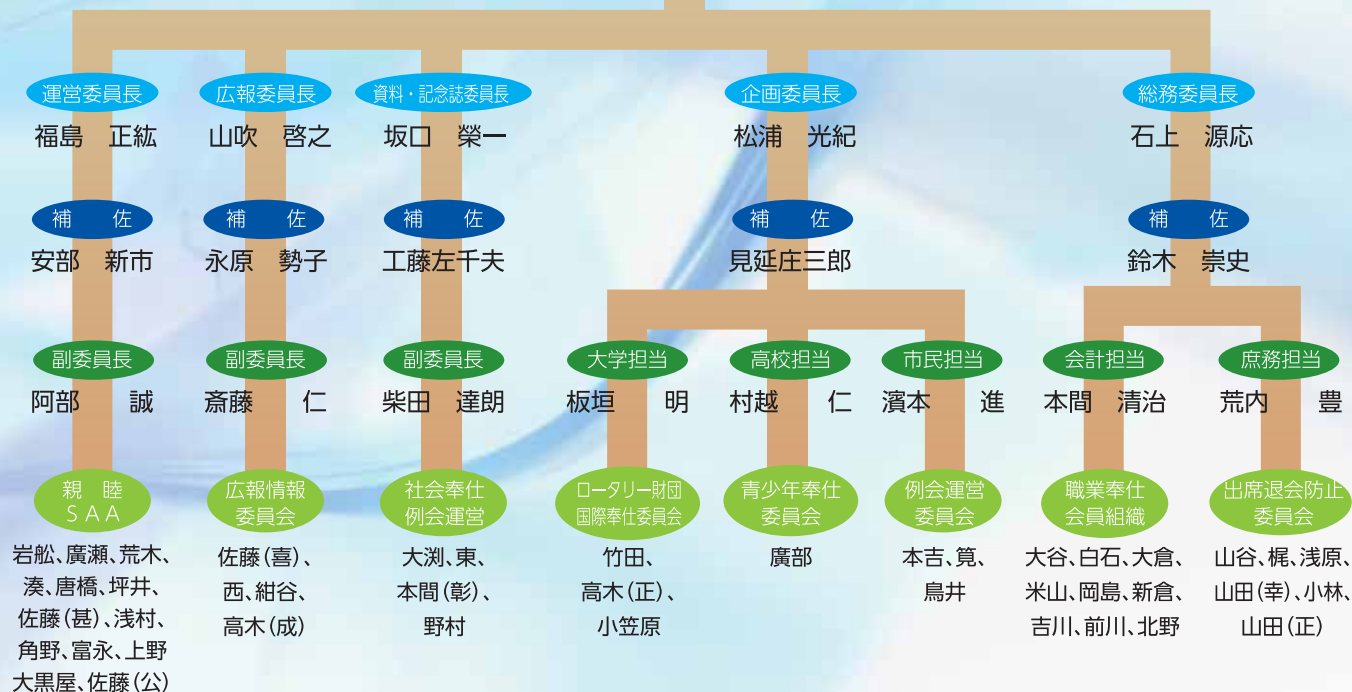
副実行委員長
(運営・広報・記念誌)

齋田 義孝

副実行委員長
(企画・総務)

荒田 一正

幹 事 松浦 光紀



小樽市民国際交流会議について

小樽市民国際交流会議実行委員長 岡崎 芳明

私の前年度会長期に立ち上げた「小樽南RC未来を語る夢会議」の流れの一つでもあり、更に現吹越会長のR財団の資金を使った事業をしたいという願いとを併せた計画が、この度の「小樽市民国際交流会議」です。その様なご縁から私が実行委員長という大役を仰せつかりましたが、実際は実行委員の方々が寝る間も惜しみ働き現在この計画が進んでおります。22日の会議までお疲れとは思いますが宜しくお願いいたします。

又この計画は小樽RC様と小樽銭函RC様にもご協力頂いた事が何よりの成果です。これだけの港と観光客と歴史的な観光資源を持つ小樽の街が、実際は会社も減り高齢化と過疎化が進む寂しい街になりつつあります。しかし最近ではアジアを中心とした海外の方々の来樽数も増えつつある現状を鑑み、未来に向け海外の方々と対話出来る場を作り、意見を交換する事で、かつて北海道内で貿易と商業の中心地と言われた小樽を活性化し再興する活力の一つになればと考えております。この事業に小樽3クラブが力を合わせる事でロータリーの奉仕活動が地域の皆様に再認識されます事を念じつつ、会員皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

出席委員会

・平成26年1月24日

会員総数 69名 本日の欠席者 9名
石上、角野、小笠原、齋田、高木(成)、佐藤(公)、浜本、前川、本間(清)

・平成26年1月10日

会員総数 69名 出席摘要免除者数 17名

病欠者 0名 出席計算員数 0名
ホーム欠席者数 13名 メーキャップ数 5名
純欠席者数 8名 確定出席率 87.30%

メーキャップ

1/24 浜本、本間(清) (委員会)